

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	小児における感染症関連検査の正常値・基準値検討のための研究
当院の研究責任者	須磨崎 亮
他研究機関および各施設の研究責任者	名古屋大学 小児科 准教授 川田潤一 東京大学医科学研究所 システムウイルス学教授 佐藤佳 国立感染症研究所 感染病理部長 鈴木忠樹 国立国際医療研究センター 感染病態研究部 上級研究員 酒井愛子
本研究の目的	<p>新型コロナウイルス感染流行以降、小児における種々の感染症およびこれに対する免疫応答について研究手法が進歩している。Multiplex PCR 検査や網羅的なメタゲノム解析等、これまで検査できなかった病原体の同定が可能となったほか、アデノ随伴ウイルス (AAV) 等、従来病原性がないとされてきた病原体についても注目が集まっている。さらにこれらの病原体といくつかの病態 (川崎病や原因不明の小児急性肝炎をはじめ、これまで原因不明とされてきた疾患) の関連が再検討され始めている。</p> <p>一方で、従来同定されてこなかった病原体であるため、感染の好発年齢や症状、感染時の免疫応答、感染後の持続感染・潜伏感染の有無等、不明な点も多い。</p> <p>共同研究期間で実施可能な multiplex PCR によるウイルス検出や、各種抗体価測定、炎症マーカー等について、当院受診患者 (感染症症状有・無ともに) の残余検体を用いて、正常値や保有率を検討する。</p>
該当期間・対象者	倫理委員会承認後～2029年3月31日まで 対象者：上記期間に当院で、採血・髄液・迅速検査、便検査を受けた患者
研究の方法	診療のために採取された血液、髄液、咽頭ぬぐい液、便に検査後の余りがあり、当院での保管期間が終了し廃棄する際に本研究への非同意がなければ、下記の情報と検体採取日を確認したのちに個人を特定できる名前やIDを消して、共同研究機関と共有し、下記の検討に使用する。
他機関への情報提供	検体採取時の年齢、性別、当院受診理由 (基礎疾患) と投薬内容 当院の臨床検査結果 (感染症および血算・生化学・髄液検査・迅速検査・培養検査結果など)

個人情報の取り扱い	個人が特定される情報は提供されません。
利益相反	本研究に関する利益相反はありません。
問い合わせ先	茨城県立こども病院 名誉院長 須磨崎 亮 029-254-1151 (代表)
備考	